



宮司プレス 第百六十八号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和三年四月 十八日

◇宮司の柴田です。 境内の桜もいつしか散

り尽くし葉桜となり、春も半ばを過ぎました。御神殿(ごしんでん) 東側の藤の花が、今が盛りと咲きほこっています。 詩人の坂村真民(さかむら しんみん)さんは、「ただこれだけ」という詩に、「一輪の花の中に 神宿(かみやど)り給(たま)う 教典(きょうてん) (きょうてん)など知らなくていいです。これだけでいいです」という詩を残されています。 中世(ちゅうせい)の室町時代(むろまちじだい)に、能(のう)を大成(たいせい)された世阿弥(ぜあみ)さんも、お父上(ちちうえ)である観阿弥(かんなみ)さんの教えを記(しる)された「風姿花伝書(ふうしかでんしょ)」に、「秘(ひ)めた多言(たげん)」と論(ろん) (ろん)されています。 花は、多くを語らずとも、存在(존在)だけで美しいということですね。 別の件(くだり)では、「秘すれば花秘せずは花なるべからず」とも記されています。 美しいものには、多くの言葉は必要ない、坂村真民さんの仰(おっしゃ)るように、「ただこれだけ」ということではないでしょ

うか。

◇さて、神社神道(じんじやしんどう)で大事にしていることは、「真善美(しんぜんび)」であります。 花を見て美しいと思う心が美しいのであります。 幕末の歌人(かじん)で、「楽(らく)しみは」ではじまる「独楽吟(どくらぐぎん)」という和歌集に、和歌を沢山(たたくさん)詠(よ)まれた橘曙覧(たちばなのあけみ)さんは、「楽(らく)しみは 朝起きいでて きのうまで なかりし花の 咲けるみるとき」と詠まれています。 世界的な数学者である岡潔(おか きよし)先生も、「数学とは、野に咲く一輪のスマイレの花を美しいと思う心だ」と述べられました。 何気ない日常の暮らしに、感性(かんせい)を研(と)ぎ澄(す)ますことが、まさしく「美」なのではないでしょうか。 そして、「清く明るく直く正しく」という神様の心がけである誠の心で生活をする、「善きことを思い善きことを行う」というのが、「善」です。 「積善(せきぜん)の家には必ず余慶(よけい)あり」という言葉がありますように、良い方向に運命(運命)がかわ

り、万事(ばんじ) 物事が進んでいくのは、やはり、積善(せきぜん)という「善き思い善き行い」ではないかと思えます。 そのためには、どんなに苦しくても、「微笑(ほほえ)み」を絶やさない、その笑顔が、必ず幸せにつながるという、「和気致祥(わきししょうをいたす)」を大切にしなければならぬと思えます。

◇コロナ禍より一年、終息(しゅうそく)の兆(きざし)どころか、「第四波」の拡散で、「蔓延防止等重点措置(まんえんぼうしとうじゅうてんそち)」も発出(はっしゅつ)されています。 予断(よだん)を許さない状況が、続く日々です。 国際日本文化研究センターの磯田(いそだ)教授は、今の状況は、平安時代に酷似(こくじ)していると仰っています。 平安時代も、大地震、大津波、そして疫病(えきびょう)にみまわれたのです。 先人たちは、どうやってその三重苦(さんじゅうく)を乗り越えてきたのでしょうか。 それは、「寛容性(かんようせい)」と「従順性(じゅうじゆんせい)」だったそうです。 何事も柔軟に受け入れて、耐え忍びつつ、日々是好日(にちにちこれこうじつ)」と暮らしてきたのです。 コロナ禍だからこそ、積善(せきぜん)が、必ず幸せにつながるのだという、「至誠善行致祥(しせいぜんこうちしよう)」の日々を送りたいものです。

◇四月の祭典行事報告（予定も含む）

▼月次祭 *四月一日、四月十五日



▼早起会参拝 *四月一日

▼竹の子島金刀比羅宮例祭 *四月四日

▼六連島八幡宮境内社荒神社（こうじんじや）例祭 *四月九日



▼舟島神社例祭ならびに巖流佐々木小次郎のみにこと）慰霊祭 *四月十日



▼福浦稻荷神社例祭 *四月十一日

▼彦島地区戦没者慰霊祭 *四月十五日



▼朝粥会 *四月二十一日

▼小暮美千代（こぐれみちよ）顕彰館開所清祓式 *四月二十四日

▼山口県漁協南風泊底引網組合大漁祈願祭参拝 *四月二十七日

▼昭和祭 *四月二十九日

▼朝粥会 *四月三十一日

▼三月の宮司動静（予定も含む）

▼彦島八幡宮関係団体

□維蘇志会役員会 *四月二日

□奉賛会会計監査 *四月十日

□敬神婦人会役員会 *四月十日

□維蘇志会総会 *四月二十日

□山口県神社庁、同下関支部関係

□過疎地域推進神社指定第一回説明会

□四月四日、豊北町田耕（たすき）神社

□同第二回説明会

*四月十一日、豊北町田耕神社

□山口県敬神婦人連合会役員会

*四月八日



□山口県神社総代会研修会

*四月十二日

▼講演活動

□山口県青年神職会総会にて講演

*四月十九日

▼教誨活動

※美祢社会復帰促進センター

□釈放前指導

*四月二十日

▼その他

□下関木鶏クラブ

*四月一日

※月刊「致知（ちち）」読後感話会

□迫町自治会役員会 *四月十四日

□迫町自治会ゴミパトロール

□人権擁護委員会研修会

*四月二十一日

□西山小学校運営協議会

*四月二十八日